

奈良市の行政改革

奈良市は、来年4月の中核市移行が決定し、本市の責任や果たすべき役割がますます重要となってきます。

昨年6月には、「奈良市行政改革大綱」を改定し、引き続き各執行機関を含む全庁的体制で推進事項の改革実施に努めているところです。

このたび、平成12年度における行政改革の実施状況を取りまとめましたのでお知らせします。

今後とも、市民のみなさんのより一層の理解と協力をお願いします。

〔平成12年度の成果〕

事務事業の見直し

平成12年度の予算編成において、厳しい財政状況下、制度の見直しを含めた施策の優先順位の厳しい選択を行い、限られた財源の重点配分に努めました。

口座振替納税に係る各納期ごとに発行の領収書を、年度一括発行の振替済通知書に改め、郵送料を大幅に節減しました。

インターネット等の普及により、定期刊行物の購読料を削減しました。加入率の低下等により、火災共済事業を廃止しました。

縁故債既借入分の利率変更を行い、支払利子を軽減しました。

各種研修や講習会などの開催日数や回数を見直し、開催経費を削減しました。

建設設計、測量業務の民間委託の縮小等によりコスト縮減を図りました。

破碎ごみの処理委託を廃止し、環境清美工場内で自己処理しました。

補助金等交付団体の事務内容、運営状況を精査し、補助金を削減しました。

技術基準や発注方法を見直し、工事請負費を削減しました。

水道配管工事において浅層埋設することにより、工事請負費を削減しました。

組織・機構の見直し

中核市移行に向け、市民部に「保健所準備室」を新設しました。

消防局を消防総務部・生活安全部の2部制とし、組織の充実強化を図りました。

梅園地区の住環境整備事業の進捗に伴い事務所を廃止しました。

定員管理と給与の適正化の推進

平成13年度から17年度まで5年間の定員適正化計画を策定しました。適正かつ適材適所の人員配置により、組織の活性化、効率化を推進しました。

人材育成の推進と多様な人材の確保

研修を計画的に実施し、市民に信頼され、多様化する行政需要に効率的に対応できる職員の育成と組織の活性化を図りました。

中核市移行に向けて、獣医師、薬剤師等を、また福祉行政推進のため保健婦を採用しました。

情報技術の活用等による行政サービスの向上

ホームページの更新等を職員が行えるよう研修しました。

奈良市例規集のデータベース化を導入しました。

議会の会議録検索システムを導入しました。

ホームページを充実し、施策の概要を提供するようにしました。

不在者投票システムを導入し、選挙人検索等の処理の迅速化を図りました。

開かれた市政と公正な行政運営の推進

建設工事の予定価格及び最低制限価格の事前公表を始めました。

自主財源の確保と経費の節減合理化等の推進による財政の健全化

受益者負担の考えのもと、各種自己負担金や減額制度の適正化を図りました。

省エネ対策や管理経費を見直し、光熱費等を削減しました。

各種イベントの記念品の必要性を考慮し、廃止等しました。

会館等公共施設の効率的な設置と管理運営の推進

なら工芸館の管理運営をならまち振興財団へ委託しました。